

「本って、なあと」図書館

しら い ひ さ あ き

白井 久明 館長

学園町の隅の老人

●館長プロフィール●

エド・マクベインの87分署警察シリーズの『警官ざらい』に出会ったのが、小学校の6年生のとき。
この小説は、エドガー・アラン・ポーの『盗まれた手紙』の現代版ではないかと、ひらめいた。
それから50年以上ミステリを読みつづけている。(以下、『本の輪廻』参照)

Q1 行きつけの図書館はありますか？ お気に入りの(または利用する)理由は？

行きつけではないですが、剣淵町(北海道)の「絵本の館」。
閉鎖になった旧館が気に入っていたが、新館も木のぬくもりがあり、雰囲気もよかった。
最近、行っていないですが、乱歩の生誕の地にある名張市立図書館(三重県)の「地下の書庫」。
名張市立図書館には、仲間でミステリの本を置かせてもらった。

Q2 図書館で利用するのは、どの部分？

開架式書棚に置いてある本で、気になるものを、館内でぱらぱら眺めること。

Q3 あなたにとっての図書館とは？ おお ぎ り 大喜利風にお答えください。

と

とにかく

し

刺激しげきがあり

よ

余人よじんにない

か

ん

感性かんせいをはぐくむ場所ばしょ
(であってほしい。)